

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横須賀市療育相談センター 保育所等訪問支援事業所		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○訪問先施設評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年3月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員の支援(知識、技術)に対する満足度が保護者、訪問先ともに高い。	保護者・訪問先と丁寧な対話を心掛けています。訪問先で先生方がお子さんと関わる中で生じる悩みや目標設定、個別的な支援など対話を通して明らかにし、具体的なアドバイスになるように取り組んでいます。	引き続き、保護者のニーズ、訪問先のニーズを丁寧に把握して、訪問先の環境に合わせた実現可能な支援になるように取り組んでいきます。
2	専門性のある職員がチームで取り組んでいる。	専門性のある職員が複数で取り組んでいます。訪問先のお子さんの様子や先生方の支援を複数の視点で観察、共有しています。どのような支援がお子さんにとってよりよい成長につながるのか、また先生方も取り組みやすいのか、相談して提案するように心がけています。	今後も専門性のある職員がチームで訪問し、訪問先の保育等に役立てられるように、各々職員がスキルを磨いていきたいと考えます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	もっと多く訪問サービスがあると思っていたとのこと意見をいただきました。訪問先とお子さんの状況に合わせて対応していきたいと考えています。	センター内の繁忙の時期と訪問先の行事の関係など、調整が必要な面があると思われます。また、専門職が複数名で訪問するため、頻度高く訪問することが難しい状況にあります。	お子さんの集団場面の様子も事前に把握しつつ、適度な頻度を訪問先と保護者と相談し、保護者にご説明していきます。早めに訪問先と予定を調整するなど、工夫をしていきたいと考えます。
2	保育所等訪問支援事業について、保護者への説明や周知が十分ではない面があると思われます。	パンフレットや市の印刷物などに記載していますが、情報が行き届いていない状況にあります。また、説明が十分ではない部分があると思われます。	今後、保護者や園からも利用希望をいただけるように、様々な場面で周知に努めていきます。また、サービスについて丁寧に説明を行っていきます。
3			